「社会福祉協議会」は、みなさんの参加とささえあいで
福祉のまちづくりをすすめる民間の福祉団体です

No.180

社協 さむかわ

この広報紙は皆さまからお納めいただいた一般会費および賛助会費と共同募金配分金により作成・発行しています。

2024.1.1

年4回（4月・7月・10月・1月）発行

迎春

令和６年 あけましておめでとうございます

町社協は今年、法人設立 40 周年を迎えます

新たな挑戦 !!

シンコースポーツ寒川アリーナで、寒川町ふれあい福祉フェスティバルを開催しました

盛り上がりました！
パフォーマンスエリア♪

体験コーナーも☺

町社協は今年も地域の皆様と共に進んでいきます！

発行　社会福祉法人 **寒川町社会福祉協議会**　寒川町宮山 401番地 寒川町健康管理センター内
電話 0467-74-7621　FAX 0467-74-5716　メール：chiiki@samukawashakyo.jp
ホームページ 寒川町社協 検索

おめでとうございます

令和５年度　寒川町からたくさんの団体・個人が受賞されました!

町社協福祉大会表彰者は、福祉大会開催報告（５面）に掲載しています

令和5年 秋の緑綬褒章

長年にわたり社会に奉仕する活動に従事し、顕著な実績を挙げた方が授与対象です。

すいせん1

民生委員児童委員の女性部から発足し、現在は一般の地域ボランティアが活動しています。就労継続支援事業B型での作業支援や話し相手、養護老人ホームでのイベント支援などをしています。

代表　飛弾　恭子

手話サークル菊和会

聴覚に障がいのある方との交流を楽しみながら、手話を勉強している団体です。各小学校の福祉教育へ協力、聴覚障がい者との交流会、福祉イベントへの協力、勉強会などを行っています。

代表　佐藤　博

中央共同募金会会長表彰

毎年10月1日から始まる赤い羽根共同募金において、中央共同募金会より、長年の募金運動への功績に対し贈られる表彰です。

県営寒川もくせいハイツ
第二自治会
会長　竹田智一

一之宮西自治会
斉藤　正信

介護のプロへの第1歩

令和５年度 介護に関する入門的研修

受講者募集!!

地域の事業所で活躍する現場のプロから、介護に関する基本的な知識や技術を学べます。介護の仕事に関心のある、これから就職を考えている方向けの講座です。

参加費無料 **未経験者向け** **就職相談可**

対　　象: これから地域で介護の仕事につきたいとお考えの方
定　　員: 20名　　**受 講 料**: 無料
会　　場: 寒川町健康管理センター
申込方法: 申込書を郵送、メール、FAX、または**窓口※平日のみ**でご提出ください。
※電話でのお申し込みは受け付けできません。
申込期間: 令和6年1月4日(木)～21日(日)必着
締め切り後、就職を希望されている方を優先に選考し、受講の可否をご連絡いたします。**※1月26日(金)までに受講の可否をお知らせいたします。ご連絡がない場合は必ずお問い合わせください。**

全日程修了者には県知事名入りの修了証が交付されます。

申し込み・お問合せ 寒川町社会福祉協議会
電話　0467-74-7621　FAX　0467（74）5716　メール chiiki@samukawashakyo.jp
実施主体：神奈川県　**運営主体**：社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会　**実施**：社会福祉法人寒川町社会福祉協議会

日程・カリキュラム

2月　3日（土）　9:00～16:25	オリエンテーション、介護に関する基礎知識ほか
2月　4日（日）　9:00～17:00	基本的な介護の方法
2月 17日（土）　9:30～16:40	認知症の理解、障がいの理解
2月 18日（日）10:00～15:25	介護における安全確保、就職支援ガイダンスほか

受講申込書

ふりがな		性　別	男・女
氏　　名			
生年月日	年　　月　　日	年　齢	
住　　所	〒		
連 絡 先	（　　）		
現在の状況	就業中→業種（　　）　勤務形態（　　） 無職・その他（　　）		
応募のきっかけ			

※記載いただく個人情報につきましては、本研修の目的達成以外には活用いたしません。

新年のご挨拶

社会福祉法人
寒川町社会福祉協議会
会長　髙橋　伸隆

昨年はコロナもやっと一段落してきましたが一方でほとんどの物価が高騰し、多くの町民の生活を苦しめ、年間を通して生活困窮者の方々からの相談の多い一年でした。また生活課題も多様化・複雑化する中でどんなことにも対応するため「総合相談」ができる人材育成が必要不可欠となってきております。今年、私共寒川町社協は法人設立40周年を迎えます。アフターコロナで社会機構が大きく変わる中、今後の社協の役割を見直し、また大震災・大水害に素早く対応できる「災害ボランティアセンターマニュアル」や社協事業のBCPのブラッシュアップをして、町民に間断なくサービス提供するためのマニュアル整備作業をして参ります。

今年の干支は「甲辰（きのえたつ）」で「甲」は物事の始まりであり「辰」は草木が伸長し形が整い活気あふれているさまの様です。「甲辰」の今年はまさにコロナが落ち着き新たにこれからの成長を形作っていく年の様です。寒川町社協も新たな10年に向けて歩みだす年にしていきます。

町民の皆様が心穏やかに明るく安心して過ごす一年になることを心からご祈念申し上げます。皆様の倍旧のご支援・ご鞭撻をお願いいたします。

町社協へ金員のご寄附をいただきました。地域福祉推進のため役立たせていただきます。ありがとうございました。　～敬称略～

令和５年９月６日～
令和５年12月５日

金員　合計 126,608 円
物品　タオル　**個人**　匿名
団体　寒川町民生委員児童委員協議会、寒川キリスト教会、寒川白ゆり会、寒川ライオンズクラブ・寒河江臥龍ライオンズクラブ、神奈川県生活水保全協会湘南支部、寒川町婦人会

理事会の審議結果

○社会福祉功労者の顕彰
○契約職員就業規程の一部改正
○生活支援員就業規程の一部改正
○日常生活自立支援事業実施要綱の一部改正
○年末たすけあい募金の配分について
○第 40 回福祉大会について

開催日　令和５年 10 月 13 日
※以上、審議・可決されました。

第９回

町社協は協議体 多様な視点で 福祉のまちづくりを

社会福祉に関心を持つ団体

町社協の評議員を構成する団体の1つに「社会福祉に関心を持つ団体」があります。現在、「寒川町商工会（以下、商工会。）」から1名、町社協へ参画いただき、評議員会をはじめ町社協の運営を見守っていただいています。

商工会では小規模企業や中小企業を応援しており、法律（商工会法）に基づいて主に町村部に設立された公的団体で、地域の事業者が業種に関わりなく会員となって、お互いの事業の発展や地域の発展のために総合的な活動が行われています。

商工会と町社協はお互いに会員の関係でもあり、各種の連携をしています。シニアげんきポイント事業での町共通商品券の購入、また、コロナ禍以降、町社協には個人事業主の方からの事業の運営資金、生活費等々の困窮相談が寄せられ、都度、商工会や町産業振興課等につなぐなどの対応をしてきました。商工会青年部の皆さんには、「3.11寒川キャンドルプロジェクト（さむかわ災害ボランティアネットワーク主催）」に初回よりご協力をいただき、多くの町民の方と共に東日本大震災を忘れないという想いを共有し、形にしてきました。

今後も、商業から見る福祉の視点と連携で誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができるように町社協の取り組みを進めていきます。

第40回寒川町社会福祉協議会　福祉大会

昨年12月2日（土）に福祉大会を町健康管理センターにおいて3年ぶりに人数制限を解除し、盛大に実施することができました。日頃から地域福祉活動に貢献される方々へ本会から感謝を伝える場となりました。

また、福祉作文 優秀作品（8面に掲載）の発表を行い、子どもたちの作文に会場は感動に包まれました。受賞された方々をご紹介します。

社会福祉功労者の表彰・感謝

（順不同・敬称略）

1　表彰

◇ 社会福祉功労者

猪股玲子、米本美智代、猿渡弥生、川口豊彦

◇ 在宅高齢者介護者

松岡美都恵

2　感謝

◇ 多額寄附者

安楽寺春・秋彼岸会参加者一同、安楽寺写経と勤行の会参加者一同、河西工業福祉協議会、一般社団法人生命保険協会　神奈川県協会、JX金属労働組合、JX金属コイルセンター労働組合、昭和通商株式会社、寒川ライオンズクラブ・寒河江臥龍ライオンズクラブ

3　神奈川県社会福祉協議会会長表彰（伝達）

◇ 表彰

佐藤直美、古本久子、能條智実、中川典子、廣瀬いずみ、渡辺孝子、江畠新吉、平杉吉惠、松井博之、横山肇

4　中央共同募金会会長表彰（伝達）

斉藤正信、竹田智一

5　神奈川県共同募金会会長感謝（伝達）

三堀清廣、米山明夫

6　福祉作文優秀作品

◇ 小学生の部

関屋愛絆、尾﨑千咲、栗原結望、松本なつ、相澤希美、五十嵐湊、鈴木花、伊藤もも、四辻陸翔、佐藤瑠海、田巻直太郎、橋本莉衣奈、竹内ほのか、上手孝太郎、和田翔太

◇ 中学生の部

石澤奈穂、瀬戸琉雅、安江葵、勝村菜々美、後藤柊斗、佐藤那琉、仲谷琉生、中村瑠花、横野ひより、米田惺哉、岩﨑世凛、金田桃果、長瀬菜月、山﨑まこ、和田頼瑚

11月25日(土)　成年後見講座を開催しました

町社協では、より多くの方に成年後見制度を知ってもらい、必要な方が適切に制度を利用できるようになることを目指し、成年後見講座を開催しています。今年度は、「親なきあと」相談室　行政書士、社会保険労務士である渡部伸氏を講師にお迎えし、「安心して暮らせるように、障がいのある子の親なきあとの準備を」というテーマで開催しました。

障がいのある子を育てる親のために、自分たちがいなくなったあと障がいのある子どもが少しでも安心して暮らすために、成年後見制度を含めて今ある法制度やサービスを組み合わせて使うことについてなど、事例を交えながらご説明くださいました。

当日は、３５名の方が受講され、「当事者視点での説明が、とても分かりやすかった」「モヤモヤしていたものが、スッキリした」などの感想が聞かれました。

ご参加ください　ご利用ください
催し物・相談等のご案内です

～住民パワーを広げよう!つなげよう!～
寒川町地域福祉フォーラム2024

日　時：令和６年３月３日（日）
午前 10 時～ 12 時
場　所：町健康管理センター
内　容：町内で活動する様々な団体で集い、どんな活動をしているのかをＰＲと共有で大交流会！
対　象：町内で活動する各団体から１～２名
参加費：無料
申込み：上記、二次元コードから
２月 18 日までにお願いします。

～認知症の理解を深めるために～
こすもすカフェ

対　象：どなたでも
場　所：寒川もくせいハイツ第２集会所
（岡田７－１広田酒店向かい）
参加費：１人 100 円
内　容：おしゃべりしましょう。
申込み：当日の午前中までに、地域包括支援センターへお電話ください(連絡先は 12 面)
開催日：すべて時間は、午後２時～３時 30 分
１月 26 日（金）、２月 16 日（金）、
３月 22 日（金）

食品にお困りの方、ご利用ください
～フードバンクさむかわ～

対　象：寒川町在住の世帯　※受付で氏名記入
内　容：寄付等の食品を無料で配布
日　時：毎月第１土曜日　午前 10 時から
場　所：町健康管理センターの屋外
※開始時間前に並ばないでください。
※用意した食品が無くなり次第終了します。

おもちゃ病院

壊れたおもちゃをボランティアのドクターが診察してくれます。
日　程：１月 19 日（金）・２月 16 日（金）
３月 15 日（金）
※時間はすべて午前 10 時～ 12 時です
場　所：町健康管理センター３階
地域活動応援ルーム
費　用：無料(部品代がかかる場合があります)
問合せ：町社協ボランティアセンター
（連絡先 12 面）

寒川町社会福祉協議会
正規職員、契約職員を募集します!

地域福祉推進のために町内で一緒に働きませんか。

職種等と雇用形態
①地域福祉全般（相談業務経験者尚可）…正規職員
②保健師（地域包括支援センター）…正規職員
③ケアマネジャー（地域包括支援センター）契約職員
採用時期：①、②は、令和６年４月予定（応相談）
③は随時
※詳細は、本会ホームページやハローワークにてご確認下さい。

～１月が申請月です～
高齢者、障がい児者の紙おむつ代助成

対　象：町内在住の在宅で高齢者又は障がい児者で常時紙おむつを必要とされている方を現に介護されている同居又は町内在住の世帯（申請者は家族の方になります）

【注意事項】
・申請には必要書類があります。詳細はお問い合わせ下さい。
・購入した内容のわかるレシート又は領収書の原本が必要です。
※令和５年度初めての申請の方は提出していただく書類があります
高齢おむつ→
申請者の世帯で、その世帯の生計中心者の令和５年度課税・非課税証明書（町民税 50,000 円以下）が必要です。(町役場で発行のもの)
障がい児者おむつ→
療育手帳、身体障害者手帳が必要です。

上映会します！　寒川町福祉団体協議会

「スペシャルズ！～政府が潰そうとした自閉症ケア施設を守った男たちの実話～」
日　時：令和６年１月 27 日（土）
午前の部：10 時～ 12 時
午後の部：１時 30 分～３時 30 分
場　所：町健康管理センター
定　員：各回とも 100 名※事前申込、先着順
入場料：無料
申込先：茅ヶ崎寒川地区自閉症児・者親の会
小川原まで
電話・ＦＡＸ　0467-74-7701
メール　kec_chee@yahoo.co.jp

ご自身の健康維持や地域での活躍を応援！
シニアげんきポイント事業説明会

町内の高齢者施設でお手伝いをしてみませんか。活動に応じ、町の共通商品券に交換できるポイントがもらえます。介護の専門的な知識や技術は必要ありません。活動を始めるには、説明会への参加が必要です。（ご都合が悪い方は個別の対応も可能ですのでお問い合わせください）

日　時：３月７日（木）午前 10 時～ 11 時
場　所：町健康管理センター
対　象：町内在住の要支援・要介護認定を受けていない 65 歳以上の方
持ち物：筆記用具
申込み：町社協ボランティアセンターへ（連絡先 12 面）

子育てサロン

対　象：町内在住の２、３歳のお子さんと保護者
場　所：町健康管理センター
時　間：午前 10 時～ 11 時 30 分（9 時 50 分受付開始）
申込み：開催月の１ヶ月前の１日（休みの場合は翌営業日）９時より受付
町社協ボランティアセンターへ（連絡先 12 面）
参加費：対象児１人につき 100 円
開催日：1月17日(水)・2月14日(水)
3月 6日(水)
4月の開催日は LINE でお知らせします

～ひとりで抱えず、聞かせてください～
心配ごと相談専用ダイヤル

0467-73-7830　平日　午前９時～午後５時
文字での相談をご希望の方はファクス、メールをご利用ください。（連絡先は１面）

～専門家が応対します～
成年後見相談

「成年後見の申立てって何からやればいいの？」など個別の相談に応じます。

対　象：どなたでも
場　所：町健康管理センター
申込み：前日までに町社協へ要予約
相談日：１月５日(金)、２月２日(金)
３月１日(金)
いずれも午後１時～３時、１人１時間まで

福祉のイベントを企画しています！
プロバスケットボールチーム
湘南ユナイテッドＢＣホームゲームにて

日　　時：２月１７日（土）
午後２時　試合開始
場　　所：シンコースポーツ寒川アリーナ
対戦相手：立川ダイス
内　　容：障がいのあるお子さんの無料招待や共同募金運動など

※詳細は町社協へ

身近な公園で　軽く体操　しませんか

１月、２月は、寒いのでお休みです！
３月１日（金）から再開します！

時　間：午前９時～９時 30 分
場　所：（月）倉見：さいど公園
（火）宮山：信玄芝原公園
（水）岡田：越公園
（木）一之宮：一之宮公園
（金）田端：矢島公園
内　容：ラジオ体操ほか
※雨天中止　※祝日はお休み

～男性ボランティアグループ「パワーズさむかわ」主催～

第 20 回　男のクッキング教室

対　象：60 歳以上の男性、20 名
日　程：１月 25 日（木）
時　間：午前９時 30 分受付開始
場　所：町健康管理センター
講　師：寒川食育サポート
メニュー：“肉じゃが”を主菜とした栄養バランスの取れた一食
費　用：1,000 円
持ち物：エプロン、三角巾（バンダナ可）、ハンドタオル
申込み：１月 11 日（木）までに、下記へお電話ください。
パワーズさむかわ　林　(080-5687-6275)
町社協ボランティアセンター
（連絡先 12 面）

連絡先の記載が無い場合は、町社協へ　☎0467(74)7621　平日 午前8時30分～午後5時15分

福祉作文について

今年も「寒川町福祉作文コンクール」を実施し、たくさんの作文をご応募いただきました。小学生の部211編、中学生の部297編の応募作品から、小学生の部15編、中学生の部15編を優秀作文として選ばせていただき、「福祉作文集」としてまとめました。町健康管理センターにてお配りしておりますので、一人でも多くの方にお読みいただけたら幸いです。本広報紙にて、一部作品をご紹介します。

また、優秀作文の中から数編を「第46回神奈川県福祉作文コンクール（応募総数4,928編）」に応募したところ、次の6名の方が受賞されました。おめでとうございます。

小学生の部

最優秀賞　tvkかながわMIRAI賞
寒川小学校　3年　関屋　愛絆
「えがおがすてきなパンやさん」

準優秀賞
一之宮小学校　2年　尾﨑　千咲
「やさしい公園」

一之宮小学校　4年　栗原　結望
「車いすを必要とする人への思い」

中学生の部

最優秀賞　神奈川県教育長賞
旭が丘中学校　3年　中村　瑠花
「APDと生きる」

最優秀賞　日本放送協会横浜放送局長賞
旭が丘中学校　3年　勝村　菜々美
「大切にしたいこと」

優秀賞
旭が丘中学校　3年　横野　ひより
「私たちにできること」

小学生の部

「えがおがすてきなパンやさん」

寒川小学校　3年
関屋　愛絆

わたしのおばあちゃんの家の近くにおいしいパンやさんがあります。でもはじめて行った時に、なんだか今まで行ったことのあるパンやさんとちがうような気がしました。その時はだれにも聞かなかったけれど、次に行った時にお母さんに聞いてみることにしました。

「このパンやさん、なにかちがうよね。」と聞くと「ここはしょうがいをもっている人たちが働いている所なんだよ。」と言われました。

わたしはしょうがいという言葉の意味がよくわからなかったので、国語じてんで調べてみることにしました。何かをする時に、じゃまになるものごと。さまたげ。体のきのうが十分に働かないこと。と書いてありました。お母さんにくわしく聞いてみると、そのパンやさんはしょうがいのある人の働く場、き会を通してさぎょうくん練やしゅうろうしえんをしていると教えてくれました。お会計の時にキョロキョロしていたり、何度も同じことを言っていたのでどうしたのかなと思っていたけれど、自分で調べたりお母さんに話を聞いて理由がわかったのでよかったです。

世の中にはいろいろな人がいます。目や耳がふ自由な人、車イスに乗っている人、手話を使う人。わたしもにがてなことがたくさんあります。でもできないことをばかにするような人がいたら悲しいです。パンやさんで働いている人たちはみんなにこにこえがおでした。えがおがすてきなので、わたしはそこへ行くとすごく幸せな気持ちになります。人を幸せな気持ちにできるのはすごいことだと思うし、わたしもえがおでだれかを幸せにできるようになれたらいいなと思います。

「車いすを
必要とする人への思い」

一之宮小学校　4年
栗原　結望

私は、学校の授業で車いすの体験をしました。そこで車いすに乗っている人たちの大変さを知りました。段差や曲がる時です。

その大変さを知ったので、「車いすから見た街」という本を読んでみました。この本は、車いすの弁護士が体験したお話です。

車いすの人でも運転ができること、車いす専用の駐車場があることを知りました。車いす専用のトイレ、スロープを考えた社会がすごいと思いました。

私も車いすの社会を考えて車いすに乗っている人たちがもっと幸せになるために考えてみたいと思いました。

この作者さんは本の中で「社会の物理的な環境が変われば、障害者はもっと幸せになれる」と言っていました。

そこで私は「私の学校に車いすで通うならどこをかえればよいか。」と「車いすで一緒に参加できる運動会の競技はどうすれば良いか。」を考えました。

学校に通う場合は、エレベーターや、スロープをつける。車いす専用トイレをつくる。教室のドアをセンサーで開閉できるようにする。教室の通路を広くし、つくえのはばと高さを変えることです。

一緒に参加できる運動会の競技は、友達がボールを運んできて最後に車いすの人がゴールを決めるボール運び、移動が少ないダンスです。

私は、変えることだけでなく、助け合うことも、いっしょに楽しむこともとても大切だと思います。なので車いすの人といっしょにできることをもっとたくさん考えていきたいと思いました。

中学生の部

「ＡＰＤと生きる」

旭が丘中学校　3年
中村　瑠花

私は、APD（聴覚処理障害）という障害を持っています。APDとは、聴覚には問題がなく、音を聞き取ることはできますが、音を言語に変換し、脳で処理して「話」の内容を理解することが難しい障害です。一対一で静かな場所で話しているときに症状が出ることは少ないのですが、雑踏の中にいるときや、複数から同時に声が聞こえてくる場合は、きちんと会話のキャッチボールをすることが難しいです。また、複雑な内容ではなくても相手の話を一度で正しく理解するのが苦手で、繰り返し説明をしてもらうことも多く、周囲にも迷惑を掛けてしまいます。

日本は、欧米と比べてAPDの認知度はとても低く、勇気を出して障害のことを話してみても、理解されにくい状態だそうで、私も話した後の反応が怖くて同じ部活の信用できる数名にしか打ち明けていません。何度も聞き返したり、聞き間違いが多かったりして、周りには迷惑を掛けてしまうので、「障害のことをきちんと話したほうがいい」と両親や先生に言われているのですが、クラスメイトや部活の仲間に言うのは、やはり怖くてできませんでした。聞き間違いをしてしまう障害のせいで、小学生の時は、「天然な子」「抜けている子」と言われていました。

私は、病院でAPDだと診断されてから、くわしい症状や対策方法、治療について等、たくさんのことをインターネットで調べました。「聞き取りにくい」という症状が主となっていることもあって、対策については周りの人の協力が必要不可欠だとどのサイトにも書いてありました。「確かにそう

するしかないのかな」という同意の気持ちと、「どんな風に伝えればいいのだろう」という迷いがあって、不安ばかりが募りました。周りに相談するべきだと分かっていても、反応が怖かったり、その後の関係性に不安を抱いてしまったりなどで周りに言うことができずに苦しむ患者さんは世界にたくさんいると思います。そこで私は、そんな悩みを持った人が生きやすくなるにはどうしたらいいのか考えてみました。一番大切だと思ったのは、周囲の人にその障害や病気の正しい知識を持ってもらい、その上でそれをその人の「個性」だと認めることだと思います。現代は、知りたいことがあればインターネットで簡単に情報を得ることができます。さらに、ジェンダーレスや考え方などをはじめとした多様性に向かう時代です。なので、その症状を障害や病気ではなく、一つの「特徴」や「個性」として受け止める姿勢を持つことが大切なのではないかと思います。障害を持つ人自身も、「認めてもらえる」ということが分かっていれば、勇気をもって多くの人に相談をすることができるのではないかと思います。

私は、授業内容や部活中に先生から指示が出されたときに言葉を聞き取ることができずに困ってしまうことが多々あります。ですが、事情を知る友達が聞き取れなかった部分を教えてくれて、なんとかみんなと同じように生活できています。

私は、APDという障害になって、会話をすることが難しく感じるようになりました。でも、会話が難しくなった代わりに人の優しさに敏感になれたように思います。事情を話した友達はもちろん、話せていない友達も、「分からない」というと私が理解するまで何度も説明してくれます。

私にとってAPDは、人の優しさを常に再認識させてくれる一つの「個性」です。困ることも多々あるのですが、そんな私と仲良くしてくれたり助けてくれたりする友達を大切にしたいし、その人が困っていたら私も何かしたいと思っています。

そんな気持ちを教えてくれたこの「個性」と、私は一緒に生きていきます。

「私たちにできること」

旭が丘中学校　３年
横野　ひより

あなたは高齢者に対し、どんなイメージを持っているだろうか。私はその「イメージ」が勝手な思い込みや誤解を生んでいるのではないかと強く感じている。

以前、学校で高齢者体験が行われた。重りや特殊なゴーグル、ベルトなどを装着し、高齢者の身体能力を体感するというものだ。

私は正直、「高齢者体験なんかして、何の意味があるのだろう」「私には関係ない」などと思っていて、興味を持てなかった。

しかし、実際に体験してみると、想像を超えた不自由さに驚いた。たった数メートルの短い距離さえうまく歩けず、杖を使っても転びそうになった。袋を開く、お金を数えるといった指先での細かい動作も、普段は容易くできるはずが、全然できなかった。

何よりも、視覚や聴覚が閉ざされ、まわりの様子がわからなくなってしまうことが本当に怖かった。前に立っているのは誰なのか、後ろから聞こえてくるのは誰の声なのか、まるでわからないのだ。

今の私がこの状態で生活したらどうなるだろう。例えば、食事や着替え、階段の昇降。今は当たり前にできていることができなくなり、とても一人では生きていけないと思う。私たちの普段の何気ない行動も、高齢者にとっては困難なのだ。

高齢者の苦労や大変さを知った私は、今まで何も知らず、知ろうともしなかった自分が恥ずかしくなった。それと同時に、高齢者のために私たちができることはないか、興味が湧いてきた。

体が不自由になると、一人での歩行は転倒の危険がある。杖だけでは十分に体を支えられないので、手を添えたり、肩を貸したりすると、高齢者は安心して歩くことができる。これは体験を通し、身を持って学んだことだ。体を支えるといった行動ばかりでなく、例えば「無理に急かさない」という思いやりだけでも、高齢者に安心感を与え、不安を和らげさせることができる。

この高齢者体験がなければ、私は高齢者の不自由さを知ることも、自分に何ができるのか考えることもなかっただろう。体験し、知ることができて本当に良かったと思う。

福祉というのは、サービスの提供や寄付だけでなく、小さな思いやりひとつで実現できるのではないかと私は思う。今の社会には、以前の私のように「自分には関係ない」と思い込み、福祉に目を向けようとすらしない人が多くいるように感じる。イメージや偏見だけで終わらせて、「自分にできることなどない」と思っている人もいるだろう。

しかし、私は高齢者の目線に立ち、その大変さを知ったことで、自分にできることを見つけられた。

私たちは「知る」ことができる。イメージの壁を壊し、相手に寄り添うことができる。初めて会った人と打ち解けて仲良くなれるように、高齢者や障がい者とも手を取り合って、幸せな社会を作っていけるはずだ。

知るという小さな一歩を踏み出せば、イメージを乗り超えた本物の思いやりで溢れた世界が待っている。

一人でも多くの人が福祉に目を向け、あたたかな心の輪がひろがるやさしい社会になってほしい。

～福祉大会の様子～

当日は、ビデオでの発表も！撮影風景です。

ボランティアセンターから こんにちは!

～ボランティアしたい! 頼みたい! を応援します～

寒川町社協ボランティアセンター（町健康管理センター）
電話 0467(72)3721
平日 午前8時30分～午後5時15分
FAX 0467(72)0277
メール:vc@samukawashakyo.jp

保育ボランティア

地域のボランティアの皆様に支えられて、
昨年もたくさんの「ありがとう」の言葉を
いただきました。
本年もよろしくお願いいたします。

ボランティア学びあい講座

子育てサロン

障がい児者サロン

サポートさむかわ

ボランティア交流会

こんにちは、地域包括支援センターです

高齢者のための相談窓口です

寒川町地域包括支援センター（町役場1階）
電話 0467(72)1294　平日 午前8時30分～午後5時15分
FAX 0467(72)5552
メール houkatu@samukawashakyo.jp

地域包括支援センターでは地域ケア個別会議を開催しています!

この会議では、寒川町内で活動している介護支援専門員（ケアマネジャー）が担当しているケースで、困難に感じること等を地域包括支援センターをはじめとする社協職員、行政職員、介護保険サービス事業所職員、更には民生委員や弁護士、薬剤師等、多くの専門職と情報を共有しながら意見を出し合い、今後の支援のあり方や方向性を検討しています。

介護支援専門員の方がより活躍出来るよう支援すると共に、町民の皆様が安心して暮らせる寒川町を目指して取り組んでいます。

☆新年がやってきました☆

新しい年をお迎えできましたね。皆様はいかがお過ごしでしょうか。家にいる時間が長いと、毎日が同じ事の繰り返しになりがちです。ここに変化があると脳の活性化につながり、ひいては認知症の進行予防にもつながります。今年は出掛ける予定をたくさん作り、ハリのある一年を過ごせたらいいですね。

認知症地域支援推進員　桜井 愛美

もっと身近に町社協 (*^-^*) 第9回 車いすの貸し出し

～一時的に車いすが必要な時、ご利用ください～

町社協の車いす

対　象：町内在住で歩行困難な方
利用料：無料
手続き：町社協の窓口で申請書を記入し、その場で車いすの持ち帰り
貸出期間：１日～１ヶ月
※事前予約はできません。

※町社協窓口に来所することが難しい方は訪問で対応しますのでご連絡ください。
※車いすは一般的な形状の自走式、介助式のいずれかで、在庫の状況によりご用意します。
※ケアマネジャーや相談支援員等の担当がいる方は、先にそちらにご相談をお願いします。

編集後記

新年、明けましておめでとうございます。法人設立40周年の本年、より皆様に役立つ社協の情報をお届けできるよう努めます。今後とも「社協さむかわ」をよろしくお願いいたします。

発　行／寒川町社会福祉協議会　☎0467-74-7621
印刷所／株式会社さんこうどう